

平成29年12月14日

宗像市議会
議長 花田 鷹人 様

予算第1特別委員会
委員長 岡本 陽子

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第98号議案 平成29年度宗像市一般会計補正予算（第3号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億826万6千円を増額し、361億6,922万2千円とする。また、繰越明許費、債務負担行為、地方債の補正を行う。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1 歳入の主なもの

(1) 市税の増額（4,700万円）

固定資産税は土地の価格の下落が想定よりも少なかったこと、軽自動車税は保有台数の増、都市計画税は固定資産税の増により増額する。

(2) ふるさと寄附金の増額（3億円）

今年度の目標額を10億円から13億円に変更し、これに伴い歳出で経費を1億7,873万3千円増額する。

2 歳出の主なもの

(1) 障害者福祉費の増額（1億2,456万2千円）

障害者サービス事業所の増に伴うサービス量の増に伴い、扶助費が増加したことが主な要因である。

(2) 漁港整備事業費の増額（5,500万円）

地島泊漁港の浮棧橋実施設計委託を行うため業務委託料を1,800万円、神湊のプレジャーボート係留施設の補修工事、全国豊かな海づくり大会鐘崎会場として使用された漁港グラウンドの復旧工事を行うため漁港改修工事費を3,700万円増額する。

(3) 学校教育一般事務費の増額（842万4千円）

小中学校空調施設のPFI導入可能性調査を行う。

(4) 小学校施設改修事業費の増額（2,300万円）

来年度のクラス増に対応するため、東郷小学校に2学級分のプレハブ建設を行う。

(5) 世界遺産保存管理事業費の増額（1,500万円）

福岡県と共同で海の道むなかた館に大型スクリーンを設置するもので、事業費3,000万円の50%を負担金として計上する。この大型スクリーンは移設可能なことを条件としている。

(6) 市民スポーツ活動推進事業費の増額(1,766万5千円)

スポーツサポートセンター工事に関連し、市民体育館の増改築を行うに当たり、建築基準法の日影規制を満たすため、市民体育館と宗寿園を結ぶスロープを設置するものである。

3 繰越明許費

漁港整備事業費と市民スポーツ活動推進事業費については、工期が年度末までに間に合わないため繰り越しを行う。

4 債務負担行為

(1) 来年度4月1日からの契約に伴うもの、複数年契約の指定管理に係るものなど45件を追加している。

(2) 大規模国際大会トレーニングキャンプ受入業務委託費は、ロシア7人制女子ラグビー及びブルガリア柔道のキャンプ受け入れに係るものであり、今年度中に協定を締結するため、3カ年で4,800万円を計上している。ロシア、ブルガリアとの国際交流については、国のホストタウン推進事業に登録し、事業費の2分の1が国から財政措置される予定である。

5 地方債

借入限度額を4,040万円増額し、36億6,390万円に変更する。

【意見】

(賛成意見)

- ・大規模国際大会トレーニングキャンプ受け入れについては、本市ではグローバル人材の育成に力を入れているので、ぜひ子どもたちに一流のプレーを観てほしい。またオリンピックへ向けて広報にも力を入れていただきたい。
- ・海の道むなかた館の大型スクリーン設置については、単なる観光ということではなく、世界遺産と人とのつながりが感じられる映像を流すことによって、また次に来てもらえるようなものにしてほしい。市が世界遺産に対してどう取り組んでいくかについての周知の仕組みを整備していただくよう要望する。大規模国際大会トレーニングキャンプ受け入れについては、国際交流が選手のトレーニングの負担とならないようにしてほしい。またALT派遣業務については、新学習指導要領における英語の教科化等により、教職員のスキルアップが課題となるため、予算を措置するのではなく現状の中で工夫して対応するよう検討してほしい。
- ・歳入については、世界遺産登録などで市の知名度が上がり、ふるさと寄附金などが増えたことを大変評価している。歳出については、大型スクリーン設置、大規模国際大会トレーニング受け入れなどの結果が今後の成果につながるよう、しっかりと取り組んでほしい。
- ・世界遺産関連予算の支出については、暫定的な対応をするのではなく、一度立ち止まって総合的に検討することが必要である。大規模国際大会トレーニングキャンプ受入業務委託費については、市が渡航費等を全額負担することは市民の理解を得にくいいため、再度相手方と十分な交渉をしてほしい。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。